大阪市老人クラブ徽章

全国3大運動
健康・友愛・奉仕をめざして
市内全会員に配布

月刊大老連

平成23年　5月号
第634号　毎月1日発行
平成23年（2011年）5月1日
定価30円（送料別）　年間購読料1,100円（送料共）
購読申し込み　郵便振替にて下記へ
振替口座番号　00940―6―38433
加入者名　社団法人　大阪市老人クラブ連合会　月刊　大老連

昭和33年9月19日第三種郵便物認可
〒556―0017
大阪市浪速区湊町1―4―1
OCATビル
発行所　社団法人　大阪市老人クラブ連合会
編集室　電　話　06(6635)3227
FAX　06(6635)3229

平成23年度 大阪市予算

3兆9354億円

健康福祉局に5410億円

大阪市の平成23年度予算は総額3兆9354億円（一般会計1兆7205億円）で前年度に比べ約804億円の増額（一般会計300億円の増額）となった。一般会計歳出のうち健康福祉局の予算は5410億2369万円と市予算の31%を占めている。

〈いきがい対策〉

▼シルバーボランティアセンター
高齢者のボランティアを育成し、登録や派遣、紹介、その他相談啓発を行う。

▼敬老優待乗車証
70歳以上の方に地下鉄、市バスなど市営交通機関の乗車証交付

▼老人クラブ育成
社会参加やいきがいづくりのためのクラブ活動に助成

▼シルバー人材センター
生きがいと社会参加のために地域に密着した臨時的・短期的な仕事を提供する。

▼入浴料金割引
70歳以上の方の健康増進のために入浴料割引サービスを毎月1・15日に実施。

▼健康増進事業
全国健康福祉祭選手団派遣

▼老人福祉センター運営
高齢者が健康で明るい生活を営むために必要な生活相談等を行うほか、各種教養講座を実施するとともに、趣味、活動、レクリエーションの機会の提供、老人クラブへの援助等を行う。

▼老人憩の家運営費助成
常設・指定憩の家に助成

▼いきいきエイジングセンター運営
高齢者が生きがい発見、実現するための支援や、地域におけるさまざまな社会的活動に貢献できる人材育成を推進するための各種講座の開講を始めとして、高齢者の生きがいづくりや社会参加を総合的に支援。

〈要介護・要支援高齢者、独居・認知症高齢者対策〉

▼高齢者住宅改修費助成
①介護保険制度の住宅改修を行うとき、同制度に関連するが支給対象とならない部分の工事について助成。または②二次予防事業対象者で、必要と認められた場合、同制度の住宅改修と同等の工事について助成（①②とともに所得制限あり）。

▼日常生活用具の給付
介護保険対象外品目について実施。電磁調理器、火災警報器・電話機・自動消火器

▼緊急通報システム
独居の高齢者、高齢者のみの世帯、同居する方が仕事などで外出するため、1日8時間程度1人となる高齢者などが対象。
受信センターが24時間体制で通報を受信し、緊急時に救急車の要請や協力者への連絡など適切な対応を行うとともに日常生活に関する健康相談に対応します。

〈施設整備〉

▼特別養護老人ホームの建設
新設8ヶ所、継続5ヶ所

▼養護老人ホームの建設
新設1ヶ所、継続1ヶ所

▼介護療養型医療施設転換整備
介護療養型医療施設の病床を介護老人保健施設等に転換するための改修等の経費の助成を行う。

▼小規模多機能型居宅介護拠点整備
「通い」を中心に「訪問」「泊まり」などのサービスを組み合わせて提供する社会福祉法人に対して施設改修等の助成を行う。

▼認知症高齢者グループホームスプリンクラー設置助成
既存施設のスプリンクラー設置経費の助成を行う。

▼特別養護老人ホーム等緊急整備促進助成
特別養護老人ホーム及び小規模多機能型居宅介護拠点の整備に際し、定期借地権設定に伴う一時金や施設開所前の介護職員の雇上げ経費などの助成を行う。

▼小規模多機能型居宅介護拠点スプリンクラー設置助成
既存施設のスプリンクラー設置経費の助成を行う。

▼認知症高齢者グループホーム自動火災報知及び通報設備設置助成
改正消防法令の施行に伴い設置が義務付けられた自動火災報知設備等の設置経費の助成を行う。

▼特別養護老人ホーム等施設内保育施設整備
特別養護老人ホーム等の介護関連施設に対して施設内保育施設の設置経費の助成を行う。

〈その他〉

▼地域福祉活動の推進
公私協働による重層的なネットワークで地域福祉活動の取り組みを充実させるとともに、地域支援システムを活かし、要援護者のニーズを把握、必要な支援に的確につないでいく取り組みを支援する。

▼社会福祉研修・情報センターの運営
社会福祉に関する研修や介護実習の開催。ご本人やその家族のための総合相談を行うほか、高齢者職業相談を実施。

▼高齢者のための後見的支援事業
①全区の社会福祉協議会で「あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）」を実施。
認知症や知的障害、精神障害などにより、判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービス等の利用援助、日常的な金銭管理や通帳・証書類の預かりサービスを契約により行う「あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）」を全区の社会福祉協議会で実施。
また権利侵害や財産管理などの生活上の権利擁護についての電話相談を「大阪市社会福祉研修・情報センター」で実施する。
②成年後見支援センター事業
専門職（弁護士・司法書士・社会福祉士）による相談や申立支援を行うとともに、市民後見人を養成・登録し、適切な受任調整や活動支援を行うなど、成年後見制度について専門に担うセンター事業を実施する。
③成年後見制度に係る市長審判請求
認知症等により、判断能力が不十分な方を保護するために、家庭裁判所が成年後見人等を選ぶ民法上の制度において、身寄りがないなどで申立ができない場合につき、市長が家庭裁判所に後見人等選任の審判請求を行う。

▼地域生活支援事業
誰もが住み慣れた地域で自立した生活を営めるように、高齢者、障害者、こどもなど支援を必要とする市民を対象に、中学校区を基本に配置した地域生活支援ワーカーが福祉サービスの情報提供、相談援助、適切な関係機関へのつなぎや調整、継続的な見守り活動などの支援を実施。

▼在日外国人高齢者給付金支給事業
在日外国人の方で老齢基礎年金（国民年金）の受給資格を得ることができなかった高齢者に対し支援。

▼福祉人材養成確保推進事業
福祉を担う人材が不足する中、質の高い福祉サービスを提供するための福祉人材の養成・確保の推進を図るとともに、共に生き共に支えあい安心して暮らせる地域、みんなが生活を共に楽しむ地域づくりを目指し、福祉就職・進学フェアの実施、将来の地域福祉を担う小中学生への地域福祉学習のための教材活用、福祉人材の養成・確保のための検討委員会を運営し、課題検討を行う。

▼地域福祉力アップ事業
平成18年度からの各区の地域福祉アクションプラン（行動計画）の取り組みが、住民主体の「地域福祉力」として定着し、「福祉コミュニティ」の実現に結びつくよう、引き続き支援。また、地域福祉の担い手のモチベーションを高め、新たな参加層や取り組みの拡大、課題解決の検討・検証等の場を提供。

花まつり市民大会

4月4日　中央公会堂

5区老連が花を添える

お釈迦様の誕生日をお祝いする「花まつり市民大会」（大阪市仏教会主催、大阪市老人クラブ連合会協賛）が4月4日午後、北区中之島の大阪市中央公会堂で盛大に開催された。

中理事長のあいさつ

当日、朝はやや寒さが残っていたが、快晴の天候に恵まれ、老人クラブ会員ら多勢の参加者で賑わった。

第1部の式典では、東日本大震災の犠牲になられた方に黙祷を捧げた後、舞台中央に設けられた花御堂のお釈迦様に献花、灌仏。次いで、三帰依文と読経が行われた。

白井忠雄・大阪市仏教会会長のあいさつに続き、大老連の中理事長が「きょうの良き日に大老連会員を多数お招きいただき、厚くお礼申しあげます。高齢者の世紀と言われる中で、老人クラブが健康・友愛・奉仕の三大運動を中心に活動を展開し、地域づくりの新しい主役として、日常活動を通じて人生の充実と長寿を喜びあえる社会作りを進めて参ります」と祝辞述べた。

この後、曹洞宗「萩の寺」東光院住職の村山廣甫師の法話があった。

第2部の清興では田島久美子さんの歌があり、その後、市内5区老連の華やかな出し物を参加者は楽しんだ。

1番手は生野区老連の民踊で、西ミツ子さんら8人がおけさ恋唄を艶やかに踊った。続いて西区老連の民踊で足立千世子さんら7名が扇子を手に道頓堀人情をしっとりと踊った。

次に東住吉区老連は、川村静代さんら13名による銭太鼓、花笠音頭、三百六十五歩のマーチを揃いのハッピで息もぴったりに披露した。

福島区老連は鳥取栄美子さんら29名による民踊で、好きやねん大阪、福島区民音頭の2曲を赤いたすきでにぎやかに踊った。

区老連のトリは阿倍野区老連で、広中豊美さんら12名による民踊、十日町小唄で熱演を締めくくった。

この後、羽田たかし、二葉由紀子の漫才、真山誠太郎の浪曲があり、福引抽選会で花まつり市民大会を終えた。

㊤西区老連の民踊、㊥東住吉区老連の銭太鼓、㊦福島区老連の民踊

2面に老人医療関係

大老連人事異動

区老連会長

《退任》平成23年3月31日付
堀北貞久（此花区老連会長）、時津忠臣（淀川区老連会長）、井上榮一（港区老連会長）、川田孝一（東成区老連会長）、藤村恭義（生野区老連会長）、箱谷清一（平野区老連会長）

《就任》平成23年4月1日付
此花区老連会長、宮義知（前此花区老連副会長）、淀川区老連会長、石橋淑男（前淀川区老連副会長）、港区老連会長、原田壽（前港区老連女性部長）、東成区老連会長、森山トシ子（現東成区老連女性部長）、生野区老連会長、山本只雄（前生野区老連副会長）、平野区老連会長、新居美千子（前平野区老連理事）

全国補聴器専門店認定協会
認定 補聴器専門店
〈カタログ送呈〉
●新製品・フルデジタル耳あな形
●新製品・フルデジタル耳掛形
●骨導めがね形●強力ポケット形
祝日は営業〈定休日　日曜日〉
㈱明朗社
電話(06)6941-3406
FAX(06)6942-4767
(〒540-0013)
大阪市中央区内久宝寺町2―6―7
地下鉄谷町線・中央線谷町四丁目駅
7号出口南一ッ目信号谷町5丁目東左側

月刊大老連6月号は5月31日に配送します

Panasonic
ideas for life
これ、実は
“補聴器なんです”
左耳・右耳の聴力に合わせる
2つの補聴機能を1台で
特長
●左右個別に調整できる「ステレオ・チューニング方式」
●シーンに合った適音が選べる「シーンセレクト機能」
●AV機器をつなげて楽しめる「外部入力端子」
●経済的な充電タイプ
おんわ ONWA モデルJJ
ポケット型補聴器
おんわ　WH-103JJ
希望小売価格（非課税・充電池付）79,000円
医療機器認証番号:220AIBZX00067000
パールホワイト　ピンク　シルバー　ブルー　レッド
パナソニック補聴器プラザのご案内
◆当店は、パナソニック補聴器株式会社が直営する相談窓口です。
詳しくは パナソニック補聴器 検索
プラザ大阪
大阪駅前第4ビル 1F
TEL.06-6344-3348
営業時間／10:00～17:30(日・祝休)
〒530-0001
大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第4ビル1F
FAX:06-6344-3318
■JR線「大阪駅」より徒歩約6分
■阪急・阪神・地下鉄御堂筋線「梅田駅」より徒歩約4～9分
プラザ京橋
KiKi京橋（京橋花月）のとなり
TEL.06-6353-3348
営業時間／10:00～17:30(日・祝休)
〒534-0024
大阪市都島区東野田町1丁目6-16 ワクテ・コスモスビル3F
FAX:06-6353-3317
■JR線「京橋駅」より徒歩約5分
■地下鉄・長堀鶴見緑地線「京橋駅」より徒歩約3分
■京阪電鉄・「京橋駅」片町口からすぐ
補聴器は適切なフィッティング調整により、その効果が発揮されます。しかし装用者の聞こえの状態によっては、その効果が異なる場合があります。耳の健康を保つため、定期的な耳鼻咽喉科の受診をおすすめします。

中山忠彦 紬衣立像

白日に輝く太陽のように力強く、清新な美。
第87回 白日会関西展
〈絵画・彫刻〉
5月7日(土)→10日(火)　近鉄百貨店阿倍野店 9階 近鉄アート館
午前10時～午後8時 ※最終日は午後5時で閉館（入館は各日閉館30分前まで）
主催／白日会、読売新聞大阪本社、読売テレビ
入場料(税込)／一般500円、大学・高校・中学生300円
豊かな伝統を踏まえながらも、新しい精神を柔軟に取り入れ、今もなお、あくなき研鑽を続ける白日会は大正13年に結成され、常に日本洋画壇の中心として優れた作家を数多く輩出してきました。通算87回を迎える本展では、全国600余名の会員作品の中から絵画、彫刻約100点を一堂に展覧いたします。長い歴史の中で、常に清新な風を送り続けてきた白日会のさらなる歩みをぜひご高覧ください。
作品解説会　■講師／白日会副会長常任委員 深澤孝哉　■日時／5月8日(日)午前10時30分から　※本展入場券が必要です。
第8回 白日会会員選抜展〈入場無料〉●5月5日(木・祝)→11日(水)　午前10時～午後8時　●阿倍野店6階美術画廊　※最終日は午後5時で閉場。
特別ご招待券
第87回 白日会関西展〈絵画・彫刻〉
5月7日(土)→10日(火)／近鉄百貨店 阿倍野店9階 近鉄アート館
午前10時～午後8時 ※最終日は午後5時で閉館（入館は各日閉館30分前まで）
※本券で一回につき2名さまでご入館いただけます。会場入口にて本券をお渡しください。
キリトリ線
Kintetsu
近鉄阿倍野
〒545-8545　大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43
電話(06)6624-1111
近鉄大阪阿部野橋駅、JR・地下鉄天王寺駅下車すぐ